

## 第74回国民体育大会近畿ブロック大会スポーツクライミング競技実施要項

1 期 日 2019年7月20日(土)～21日(日) 2日間

### 2 種別・種目

種 別	7月20日(土)	7月21日(日)
成年女子	リード競技	ボルダリング競技
少年男子	リード競技	ボルダリング競技
少年女子	リード競技	ボルダリング競技

### 3 会 場

リード会場 : GRAVITY RESEARCHなんば

ボルダリング会場 : KEY BOULDERING

種 別	本大会出場府県数	監 督	選 手	参加府県数	小計	計
成年女子	2	1	2	6	18	54
少年男子	2	1	2	6	18	
少年女子	2	1	2	6	18	

### 4 競技場の規定及び方法

(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会国民体育大会スポーツクライミング競技規則集(平成31年4月改訂)並びに近畿ブロック大会審判委員会が定めた審判基準による。

### 6 参加資格

第74回国民体育大会参加資格・所属府県及び年齢基準による。

(注)ブロック大会に出場する選手(交替選手を含む)は、ブロック大会申込み締切り期日の28日前までに、(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会事務局へ選手登録申請を提出すること。

監督は、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認山岳コーチ1、公認山岳コーチ2、公認山岳コーチ3、公認山岳コーチ4、公認スポーツクライミングコーチ1、公認スポーツクライミングコーチ2、公認スポーツクライミングコーチ3のいずれかの資格を有していなければならない。

### 7 選手認識方法

府県名の表示方法は次による。

方 法	ゼッケン
表示場所	上着・シャツ
表 記	指定の府県番号 - 選手の枝番
大 き さ	A5サイズ
位 置	背中中央
色・書体	成女・赤枠赤字 少男・黒字 少女・赤字 書体ゴシック

選手の枝番は右図のように、1又は2で表記する。 29-1

府県名は下表とする。

滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
25	26	27	28	29	30

(注)ゼッケンは主催者が受付時に支給する。

### 8 受 付

2019年7月20日(土)9時00分～9時15分

GRAVITY RESEARCHなんば

### 9 監督会議

2019年7月20日(土)9時20分～35分 GRAVITY RESEARCHなんば

## 10 開始式

2019年7月20日(土) 9時45分～10時00分

GRAVITY RESEARCHなんば

## 11 表彰式

2019年7月21日(日) 16時00分～

奈良市南部生涯スポーツセンター

## 12 宿 舎

宿泊要項による。全チームの選手、監督は、競技会の前夜・競技1日目の夜は指定された宿泊地に宿泊すること。

## 13 輸 送

競技会場及び宿舎からの計画輸送は行わない。自己車両で移動の場合、リード会場の駐車場は近隣の有料駐車場を各自で利用すること。ボルダリング会場の駐車場はスペースに限りがある。

## 14 選手変更

選手の変更については疾病・傷害等特別な場合のみ認めることとし、所定の用紙に記入の上、監督会議までに受付に提出すること。

### 《競技日程表》

月 日	内 容	予定時刻	場 所	備 考
7 月 20 日	役員打合せ	8:00 ～8:10	GRAVITY RESEARCH なんば	
	審判員会議	8:30 ～8:40		
	選手受付	9:00 ～9:15		
	監督会議	9:20 ～9:35		
	開始式・リード競技開始通告	9:45 ～10:00		
	アイソレーションクローズ	10:10		
	リード競技(少年女子)	11:00～		
	(少年男子)	11:00～		
	(成年女子)	12:30～		
	リード競技終了通告	14:00		
審判員会議	14:00～	KEY BOULDERING		
7 月 21 日	役員・審判員 集合			8:00
	選手受付			8:30
	アイソレーションクローズ・ ボルダリング競技開始通告			9:00
	ボルダリング競技(少年女子)			10:20
	(成年女子)			11:00
	(少年男子)			13:30
	ボルダリング競技終了通告			14:20
	審判員会議	14:20～		
表彰式	16:00	奈良市南部生涯スポーツ センター		

なお、詳細な競技日程については別途、競技時程表を参照すること。

## 第74回国民体育大会近畿ブロック大会スポーツクライミング競技 実施要領

### 1 総 則

#### 第1条（運用及び定義）

国民体育大会近畿ブロック大会スポーツクライミング競技（以下「競技」と略称）の開催、及び運営に関する事項は、（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会（以下「日山協」と略称）制定の、現行の規則集に準じて実施する。ただし、規則集によらない事項及び本大会において実施する事項については、本要項による。

#### 第2条（競技の種別）

競技種別は、成年女子、少年男子及び少年女子とする。

### 2 共通規則

#### 第3条（競技場）

- 1 競技施設は、近畿地区山岳連盟（以下「近畿岳連」と略称）が認めたものとする。
- 2 競技場は、スポーツクライミング競技施設認定規定に準じる。

#### 第4条（公 示）

競技会の公示は、大会開催の3か月前までに行う。

#### 第5条（実施要項及び実施要領等）

競技会の実施要項は、大会開催の1か月前までに近畿地区府県山岳連盟（以下「府県岳連」と略称）に送付する。

#### 第6条（組 織）

競技会の準備、運営及び審判は次の役員が分担する。

- （1） 競技会役員
- （2） 競技役員
- （3） 審判員

#### 第7条（競技会役員の任務）

- （1） 競技会場及びその附帯施設についての確認。
- （2） 競技運営についての点検。
- （3） 総合成績の確認。
- （4） 悪天による競技の変更及び中止についての決定。
- （5） 選手、監督の資格、退場及び失格の決定。
- （6） その他、必要な事項の処理。

#### 第8条（競技役員の構成と任務）

##### 1 競技役員の構成

- （1） 競技委員長 1名
- （2） 競技副委員長 1名
- （3） 競技委員 若干名
- （4） 運営役員 若干名

##### 2 競技役員の任務

- （1） 競技委員長は、競技会の運営を統括し、その結果を競技会会長に報告する。

- (2) 競技副委員長は、委員長を補佐し委員長に事故あるときはその職務を代行する。
- (3) 競技委員は、種目ごとに定める任務について、競技委員長の指示に従い競技の運営にあたる。
- (4) 運営委員は、競技の運営に必要な部署について、競技委員長の指示に従い業務にあたる。

#### 第9条（審判員）

近畿地区府県岳連は、種別ごとに各1名の計2名の審判員を推薦し、正副審判長は2項の定めに従う。

##### 1 審判員の構成

- (1) 審判長 1名
- (2) 副審判長 1名
- (3) 主任審判員 1名（兼任を可とする）
- (4) 副主任審判員 2名
- (5) 審判員 8名

2 審判長（1名）は次年度競技開催地府県岳連が、副審判長（1名）は当該年競技開催地府県岳連が推薦する。

3 主任審判員・副主任審判員は、審判員会議で決定する。

#### 第10条（選手のスタート順）

チームのスタート順の抽選は、次の通りとする。なお、リード競技の出場順はゼッケンの枝番順とする。

##### リード競技（L）

種別	1・2番	3・4番	5・6番	7・8番	9・10番	11・12番
成年女子	滋賀県	兵庫県	京都府	大阪府	奈良県	和歌山県
少年男子	奈良県	兵庫県	滋賀県	京都府	大阪府	和歌山県
少年女子	滋賀県	和歌山県	京都府	兵庫県	大阪府	奈良県

##### ボルダリング競技（B）

種別	1番	2番	3番	4番	5番	6番
成年女子	和歌山県	京都府	兵庫県	滋賀県	奈良県	大阪府
少年男子	滋賀県	奈良県	大阪府	和歌山県	兵庫県	京都府
少年女子	奈良県	京都府	和歌山県	滋賀県	大阪府	兵庫県

#### 第11条（成績の発表）

- 1 成績の発表は、1日の競技が終了した後、次の手順で行う。
  - (1) 競技役員は、所定の掲示場所に成績表を掲示し、成績を発表する。
  - (2) 当該種目競技が終了した後、種目ごとに種目の順位を決定する。
- 2 総合成績の発表は、全競技が終了した後、次の手順で行う。
  - (1) 競技委員長は、競技会会長に総合成績順位を報告する。
  - (2) 競技会会長は、表彰状の作成及び成績発表について運営委員に指示する。

#### 第12条（ルート・セット）

ルート・セットは日山協公認ルート・セッターが行う。また、競技会会長が認めたルート・セッターもこの任を行うことができる。

### 3 リード競技規則

#### 第13条（定義）

- 1 競技は、チーム単位で実施する。選手は2名とし、両名が順次同一のルートをオンサイトで登る。
- 2 審査は、別に定める項目について行い、その判定は日山協公認審判員が行う。ただし、競技会会長が認めた者がこの任を行うことができる。

#### 第14条（競技の構成）

- 1 競技のチーム数は、6チーム以内とする。
- 2 競技役員の構成は、次のとおりとする。

(1) 審判員	主任審判員	1名
	副主任審判員	1名
	審判員	10名
(2) 競技委員	チーフ・ルート・セッター	1名
	ルート・セッター	1名
	ビレイヤー（確保員）	6名
	計測・記録員	2名
	医務員	1名
(3) 補助役員		若干名

- 3 競技の日程は、1日間とする。
- 4 一人あたりの競技時間は、6分間とする。
- 5 競技は、1面のクライミング・ウォールを使用し、チーム単位で一人ずつクライミングして実施する。

#### 第15条（競技の方法）

- 1 オブザベーション  
オブザベーション時間は6分間とする。
- 2 競技中
  - (1) チームごとに選手1名ずつスタートする。
  - (2) チームの選手1名がスタートラインを超えた時点で、競技時間に含まれない40秒間の最終オブザベーション時間が認められる。

### 4、ボルダリング競技規則

#### 第16条（競技の構成）

- 1 競技のチーム数は、6チーム以内とする。
- 2 競技役員の構成は、次のとおりとする。

(1) 審判員	主任審判員	1名
	副主任審判員	1名
	審判員	10名
(2) 競技委員	チーフ・ルート・セッター	1名
	ルート・セッター	2名
	計測・記録員	2名
	医務員	1名

(3) 補助役員 若干名

3 競技の日程は1日間とする。

4 各ボルダラーの競技時間は、1チームの選手2名、2ボルダラーにつき6分間とする。

#### 第17条(競技前オブザベーション)

競技前オブザベーション時間は10分間とする。

#### 付則

1 本実施要領は、事前審判員会議及び近畿ブロック大会の審判会議にて制定する。

2 本実施要領の改廃は、近畿ブロック大会の審判会議において行う。

3 本競技規則要領は、近畿ブロック大会のみに適用し、2019年度の大会にて施行する。

### 連絡・注意事項

#### 1. 参加申込み

##### (1) 参加申込みについて

参加申込みは日本スポーツ協会の国民体育大会参加申込システムによる申込とする。

##### (2) 参加申し込み後の選手・監督の変更

選手・監督の変更が必要な場合は、各府県で所定の手続きをしたうえで、「参加選手・監督(交代・変更・棄権)届」を選手・監督1名につき1枚提出すること。

提出は監督会議までに受け付けるものとし、以後は認めない。

##### (3) 棄権が生じた際の手続

所属する各府県の連絡責任者へ連絡し、大会終了後、所定の手続きを取ることに。

なお、監督会議後に棄権が生じた場合、監督は棄権理由明記した所定の「参加選手・監督(交代・変更・棄権)届」により、競技会責任者へ提出すること。

#### 2. 大会前の競技会場への立入について

各競技会場への立入りができる最終日時は次の通りとする。

リード競技会場 2019年7月17日(水)午後4時まで

ボルダリング競技会場 2019年7月17日(水)午後4時まで

練習可能日時についてはそれぞれの施設の規定による。

#### 《参考》

・リード競技会場 GRAVITY RESEARCH なんば

〒542-0075 大阪市中央区難波千日前12-35

スイングよしもとビル3F・4F

Tel: 06-6645-0631

・ボルダリング競技会場 KEY BOULDERING

〒630-8454 奈良市杏(からもも)町583-1

3. 各競技会場から宿舎等への移動は、計画輸送を行わないため、移動に際しては公共交通機関を利用するか、自己車両で移動する場合には充分時間的余裕をもって移動をすること。駐車場は、リード会場は各自負担、ボルダリング会場は現地に各チーム1台分を用意する。

4. 選手のゼッケンは受付時に主催者によりシールで支給する。付着できない場合は安全ピンを支給する。

- 5、全チームの選手・監督は競技1日目の夜は指定された宿舎で宿泊するものとする。前日泊については主催者側では斡旋しないが、選手受付に間に合うよう必要なチームは対応すること。
- 6、選手は、アテンプト時においては、常に種別ごとの統一ユニフォームを着用することが望ましい。
- 7、賞状は種別ごとに、リード・ボルダリング・総合の上位成績の3位までに授与する。
- 8、選手監督と同時に受付しアイソクローズの時間までにエリアに入る場合に限り、トレーナーはアイソレーションエリアに立ち入ることができる。ただし一度退出した場合は競技エリアに戻れないものとする。
- 9、リード競技会場内は上履きが必要なので、各自で用意すること。会場備え付けのものは使用できない。
- 10、リード競技会場は、営業時間外を借用しているので会場への入場時間が限定されます。選手・監督は受付開始前に会場前に到着し、運営役員の誘導によって2階エレベーターホールに待機すること。
- 11、リード・ボルダリング両競技会場とも食事類の持ち込みできません。軽食、飲料の持ち込みは構いませんが、ゴミは各自で持ち帰ること。
- 12、式典の服装については、競技者にふさわしいものとする。
- 13、競技の服装については、(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会の規程によるほか、(公財)日本スポーツ協会 国民体育大会ユニフォーム規程によること。なお、都道府県名の表示は“競技に支障がなく、表示が確認できる位置”に表示するよう通知がなされていることに留意すること。
- 14、ボルダリング競技の終了後、表彰式までの間に(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会主催のアンチ・ドーピング研修会を予定しています。可能な限り参加し、研修を深めるようにしてください。

# 令和元年度からの国体スポーツクライミング競技ブロック大会 種別総合順位決定方法

【文責】2019/05/13 SC 部国体委員会

令和元年度からの、「国民体育大会スポーツクライミング競技規則集」（以下「規則集」という。）について大幅な改訂を行いました。これにともない、従来のブロック大会における種別総合順位決定方法に変更がともなう場合もあることから、改めて説明を行うことといたします。

なお従来からの、各ブロック内での競技規定については尊重されるものと理解しています。

- 1、リード競技の競技順位は、「規則集国体リード競技規定第10章各ラウンド後の順位（個人順位）第29条（チーム順位）第30条」により決定されます。
- 2、ボルダリング競技の競技順位は、「規則集国体ボルダリング競技規定第10章各ラウンド後の順位（個人順位）第23条（チーム順位）第24条」により決定されます。
- 3、種別総合順位は以下の方法により決定します。例として、ブロック内4県中、本大会への出場県は2県の場合を示します。

(1) リード競技、ボルダリング競技それぞれのチーム順位ポイントを相乗し、その結果を比較し決定します。

	A 県	B 県	C 県	D 県
リード競技 チーム順位	1ポイント	3ポイント	2ポイント	4ポイント
ボルダリング競技チーム順位	2ポイント	1ポイント	4ポイント	3ポイント
チーム順位ポイントの積	2	3	8	12

◎ チーム順位ポイントの相乗値が小さい、A 県と B 県が出場県となります。

(2) 複数のチームで(1)で求めたチーム順位ポイント相乗値が同じとなった場合は、種目別チーム順位で高順位を有するチームを上位とします。

	A 県	B 県	C 県	D 県
リード競技 チーム順位	1ポイント	4ポイント	2ポイント	3ポイント
ボルダリング競技チーム順位	4ポイント	1ポイント	2ポイント	3ポイント
チーム順位ポイントの積	4	4	4	9

◎ 高順位を有する A 県と B 県が出場県となります。



(3) (2) で求めたチーム順位合計値の比較でも選出できない場合は、2種目別個人順位ポイントの相乗で上位となる（相乗した値が小さい）チームを上位とします。

	A 県	B 県	C 県	D 県
リード競技 チーム順位	1ポイント	2ポイント	3ポイント	4ポイント
ボルダリング競技チーム順位	1ポイント	3ポイント	2ポイント	4ポイント
チーム順位ポイントの積	1	6	6	16

◎ 高順位を有するA県は(1)にて決定。B県、C県は(1)(2)を適用しても、同順位のため個人順を求める。



	B 県	C 県
リード競技 個人順位ポイント	2.5 / 4	5 / 6
ボルダリング競技 個人順位ポイント	5 / 6	3 / 4
個人順位総合（個人順位ポイントの積）	<u>300</u>	<u>360</u>

◎ 個人順位合計が少ない、B県に決定される。

(4) (3) の2種目別個人順位ポイントの相乗でも比較選考できない場合は、個人順位ポイントに高順位を有するチームが上位とします。

	B 県	C 県
リード競技 個人順位ポイント	<u>2</u> / 6.5	5 / 6.5
ボルダリング競技 個人順位ポイント	5 / 6	<u>3</u> / 4
個人順位総合（個人順位ポイントの積）	<u>390</u>	<u>390</u>

◎ より上位順位を有する、B県に決定される。